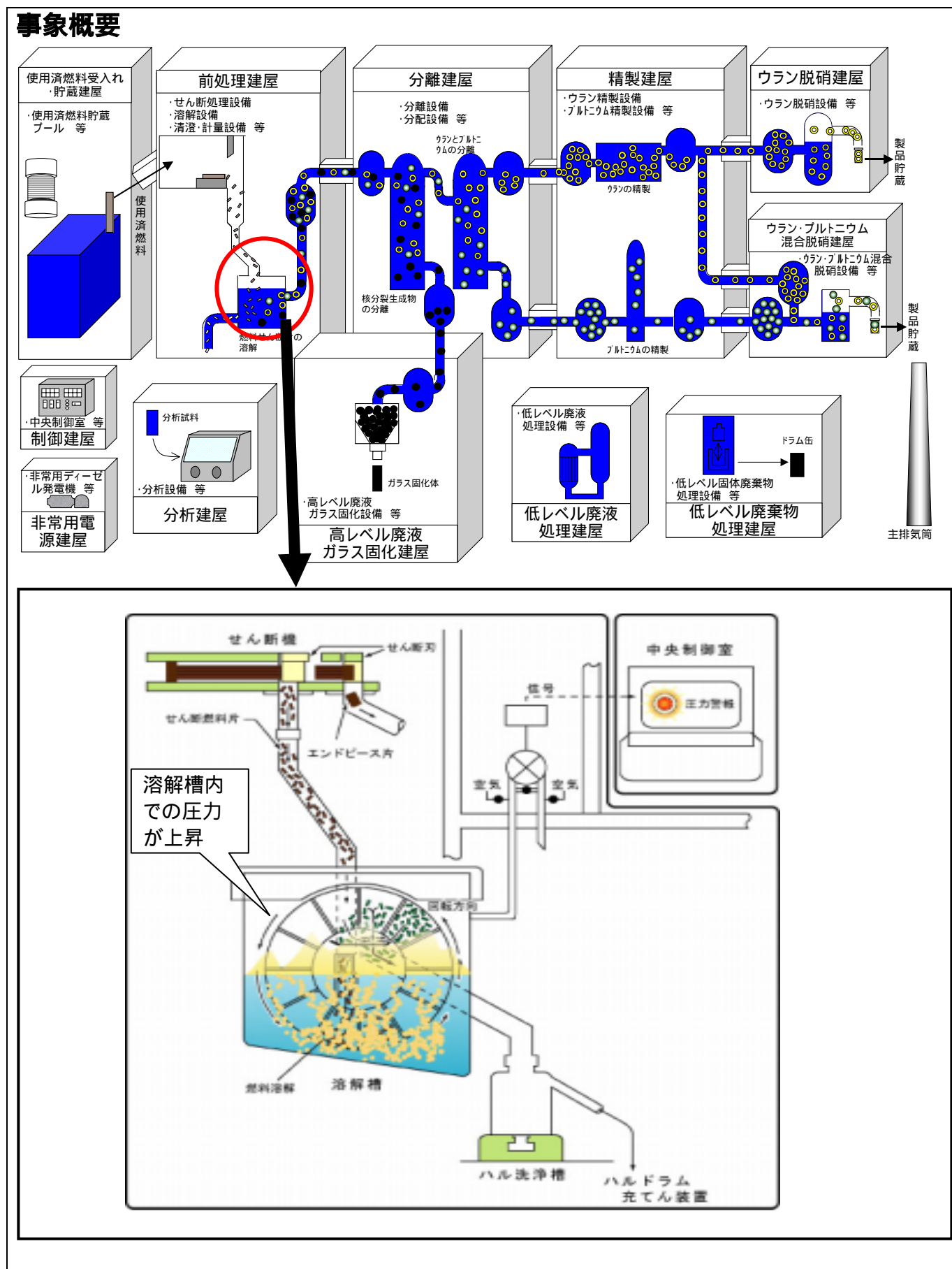


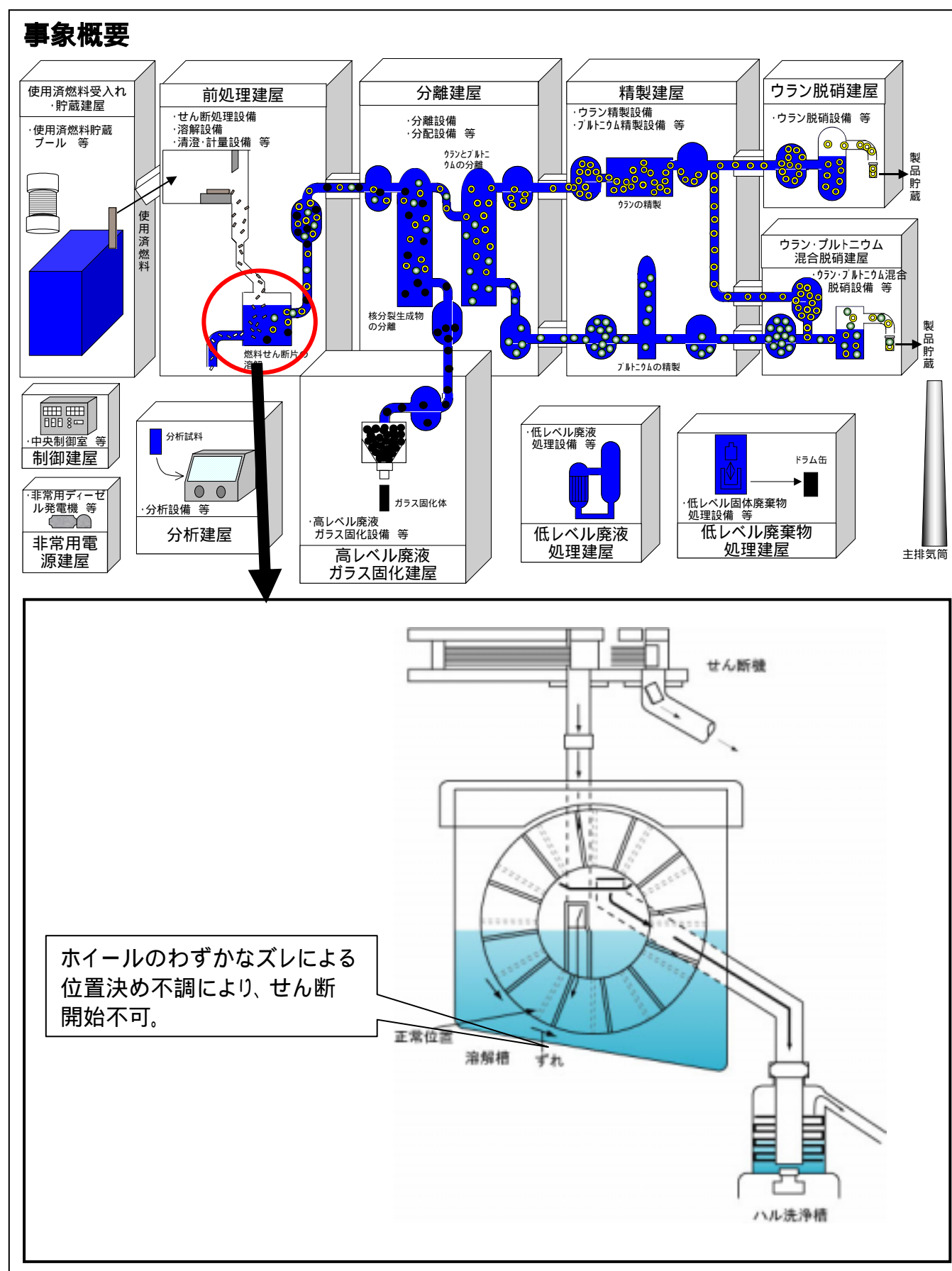
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-1)

<b>件名</b>	溶解槽における内圧上昇						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: 溶解槽</p> <p>(2) 発生の状況 溶解槽の運転中</p> <p>(3) 概要 燃料せん断片の溶解時における溶解槽内での圧力が上昇し溶解槽内の圧力計高の警報発報によりせん断機が自動停止</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋せん断処理・溶解ガス処理設備が稼働している溶解槽内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 溶解槽内の圧力上昇など異常事象の発生時、溶解槽の圧力計が設定値を超えた圧力を検知した場合、せん断機を自動停止するとともに、異常反応などを安全に収束させ、負圧維持システムを備えているので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 復旧作業は、放射性物質を直接扱わないため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>下流の工程の運転に影響が生じる。</b> せん断機の自動停止に伴い、前処理建屋のせん断機、溶解槽以降の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、その中間にある一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の流量で運転継続の可否を判断する。</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 溶解槽の突沸等の異常反応などに起因する圧力上昇による自動停止であることを確認する。</p> <p>(2) 溶解槽への燃料の供給量を減らして、溶解反応を緩やかにして溶解槽の圧力調整する。</p>						
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">                 国際評価尺度 (INES)のレベル  <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</div> </div> <p style="font-size: small;">(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p style="font-size: small;">日本原燃による評価: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レベル0以下</span> 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p style="font-size: x-small;">運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p> </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</div> </div> <p style="font-size: small;">(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p style="font-size: small;">日本原燃による評価: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レベル0以下</span> 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p style="font-size: x-small;">運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</div> </div> <p style="font-size: small;">(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p style="font-size: small;">日本原燃による評価: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レベル0以下</span> 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p style="font-size: x-small;">運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							



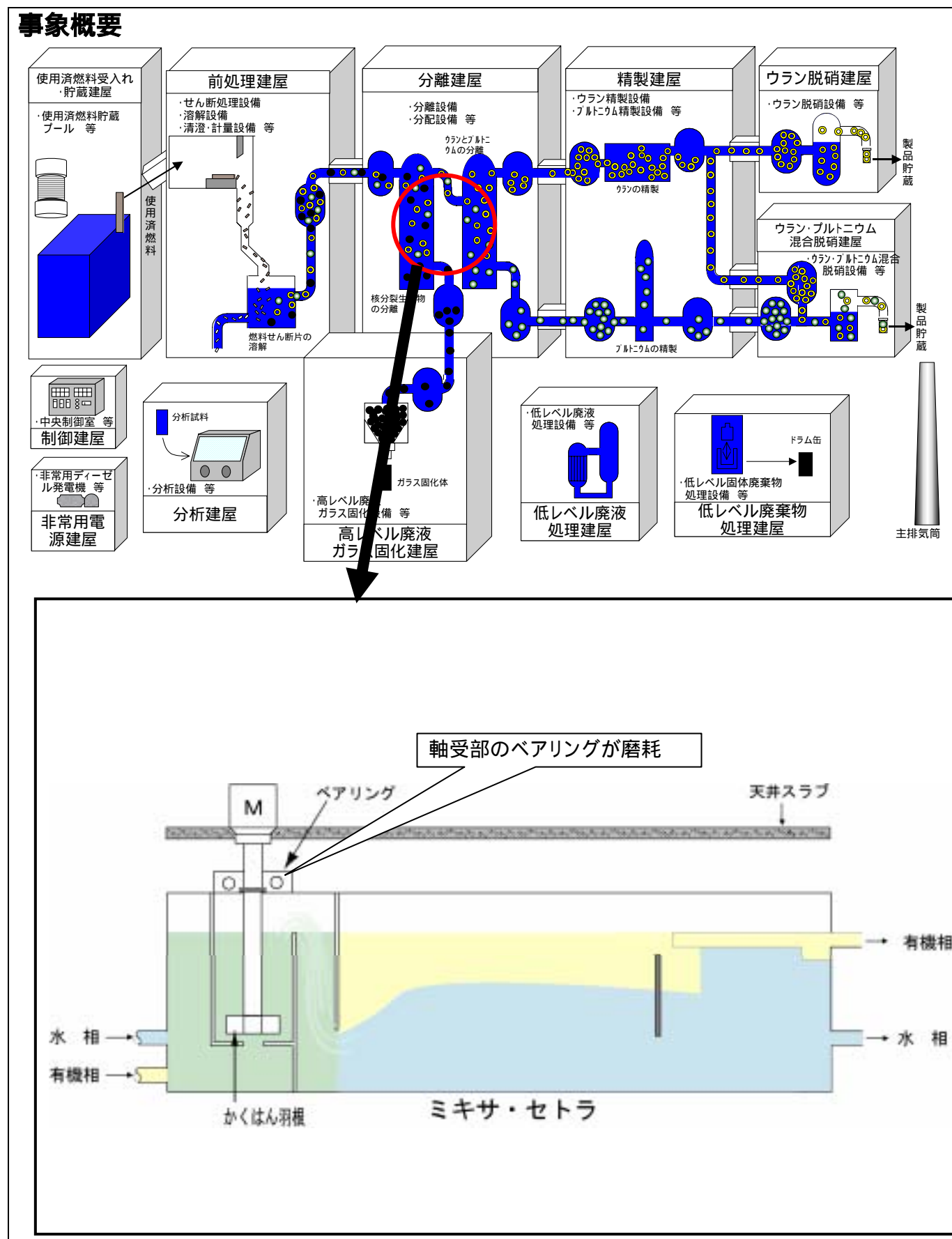
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-2)

<b>件名</b>	溶解槽におけるホイールの位置決め不調									
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: 溶解槽</p> <p>(2) 発生の状況 溶解槽の運転中</p> <p>(3) 概要 溶解槽ホイールの実際の位置とホイールの回転を制御しているエンコーダ指示値とのわずかなズレが発生し、ホイールの位置決め不調によりせん断が停止</p>									
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋せん断処理・溶解廃ガス処理設備が稼働している溶解槽内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 溶解槽ホイールの回転動作不良に伴いせん断が停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 溶解槽ホイールの復旧作業は、セル外からの遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>下流の工程の運転に影響が生じる。</b> 溶解槽の停止に伴い、前処理建屋内のせん断機、溶解槽以降の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、その中間にある一時的な貯留槽(計量後中間槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>									
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 溶解槽ホイールの実際の位置とエンコーダ指示値を確認し、ズレを調整する</p> <p>(2) 溶解槽ホイールの位置を調整後、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p>									
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)									
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
0以下	1	2	3	4	5	6	7			



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-3)

<b>件名</b>	点検作業中におけるミキサ・セトラのかくはん機のベアリング磨耗																																								
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: ウラン逆抽出器</p> <p>(2) 発生の状況 点検・保守作業中</p> <p>(3) 概要 ウラン逆抽出器混合部のかくはん機シャフト軸受部のベアリングに磨耗が発生し、インターキャンパーン時の点検保守作業で磨耗と軸受けの破損を発見</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な故障等の発生が予想される。</p>																																								
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働しているセル内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> インターキャンパーン時の点検・保守作業で磨耗が発見されるものであり、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 交換作業等の復旧作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> インターキャンパーンに当該機器の点検・保守作業中に発見された事象であるため、他工程への影響は生じない。</p>																																								
<b>対応の概要</b>	<p>(1) ミキサ・セトラかくはん機の軸受部を取り外し、定められた手順に従い軸受け交換する。</p> <p>(2) ミキサ・セトラかくはん機の軸受け交換後、定められた手順に従い運転を再開する。</p>																																								
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)																																								
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 20%; vertical-align: top;">                     国際評価尺度 (INES) のレベル                       日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> <td style="width: 20%; text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="width: 15px;">0以下</td><td style="width: 15px;">1</td><td style="width: 15px;">2</td><td style="width: 15px;">3</td><td style="width: 15px;">4</td><td style="width: 15px;">5</td><td style="width: 15px;">6</td><td style="width: 15px;">7</td></tr> </table> </td> <td style="width: 20%; vertical-align: top;">                     放射性物質の外部放出                      (レベル2以下は工場外への影響はない)                 </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">                     工場外への影響                 </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="width: 15px;">0以下</td><td style="width: 15px;">1</td><td style="width: 15px;">2</td><td style="width: 15px;">3</td><td style="width: 15px;">4</td><td style="width: 15px;">5</td><td style="width: 15px;">6</td><td style="width: 15px;">7</td></tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;">                     放射性物質による汚染、被ばく等                      運転時稼働からの逸脱等                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     工場内への影響                 </td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;">                     多重防護の劣化                 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="width: 15px;">0以下</td><td style="width: 15px;">1</td><td style="width: 15px;">2</td><td style="width: 15px;">3</td><td style="width: 15px;">4</td><td style="width: 15px;">5</td><td style="width: 15px;">6</td><td style="width: 15px;">7</td></tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質の外部放出 (レベル2以下は工場外への影響はない)	工場外への影響	(b) 運転システムを切り替えて復旧	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="width: 15px;">0以下</td><td style="width: 15px;">1</td><td style="width: 15px;">2</td><td style="width: 15px;">3</td><td style="width: 15px;">4</td><td style="width: 15px;">5</td><td style="width: 15px;">6</td><td style="width: 15px;">7</td></tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質による汚染、被ばく等 運転時稼働からの逸脱等	工場内への影響	(c) 当該機器を停止して復旧			多重防護の劣化		(d) 当該設備を停止して復旧					(e) 影響範囲の設備を停止				
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="width: 15px;">0以下</td><td style="width: 15px;">1</td><td style="width: 15px;">2</td><td style="width: 15px;">3</td><td style="width: 15px;">4</td><td style="width: 15px;">5</td><td style="width: 15px;">6</td><td style="width: 15px;">7</td></tr> </table>		0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質の外部放出 (レベル2以下は工場外への影響はない)	工場外への影響																												
0以下		1		2	3	4	5	6	7																																
(b) 運転システムを切り替えて復旧		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="width: 15px;">0以下</td><td style="width: 15px;">1</td><td style="width: 15px;">2</td><td style="width: 15px;">3</td><td style="width: 15px;">4</td><td style="width: 15px;">5</td><td style="width: 15px;">6</td><td style="width: 15px;">7</td></tr> </table>		0以下	1	2	3	4	5	6	7	放射性物質による汚染、被ばく等 運転時稼働からの逸脱等	工場内への影響																												
0以下		1		2	3	4	5	6	7																																
(c) 当該機器を停止して復旧				多重防護の劣化																																					
(d) 当該設備を停止して復旧																																									
(e) 影響範囲の設備を停止																																									

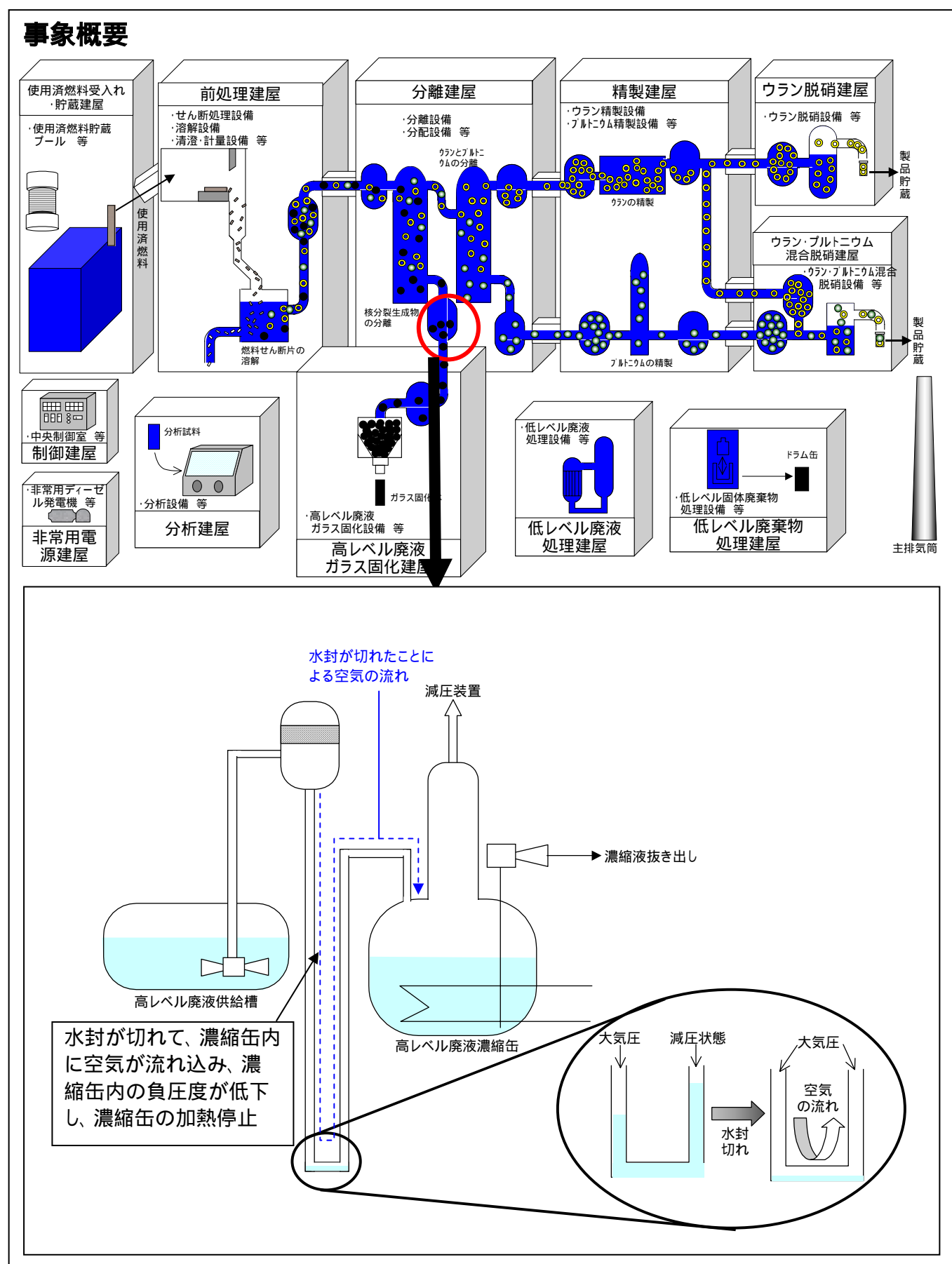


本事象は当該機器停止時の保守作業に発生したものであるため対応区分該当なし。



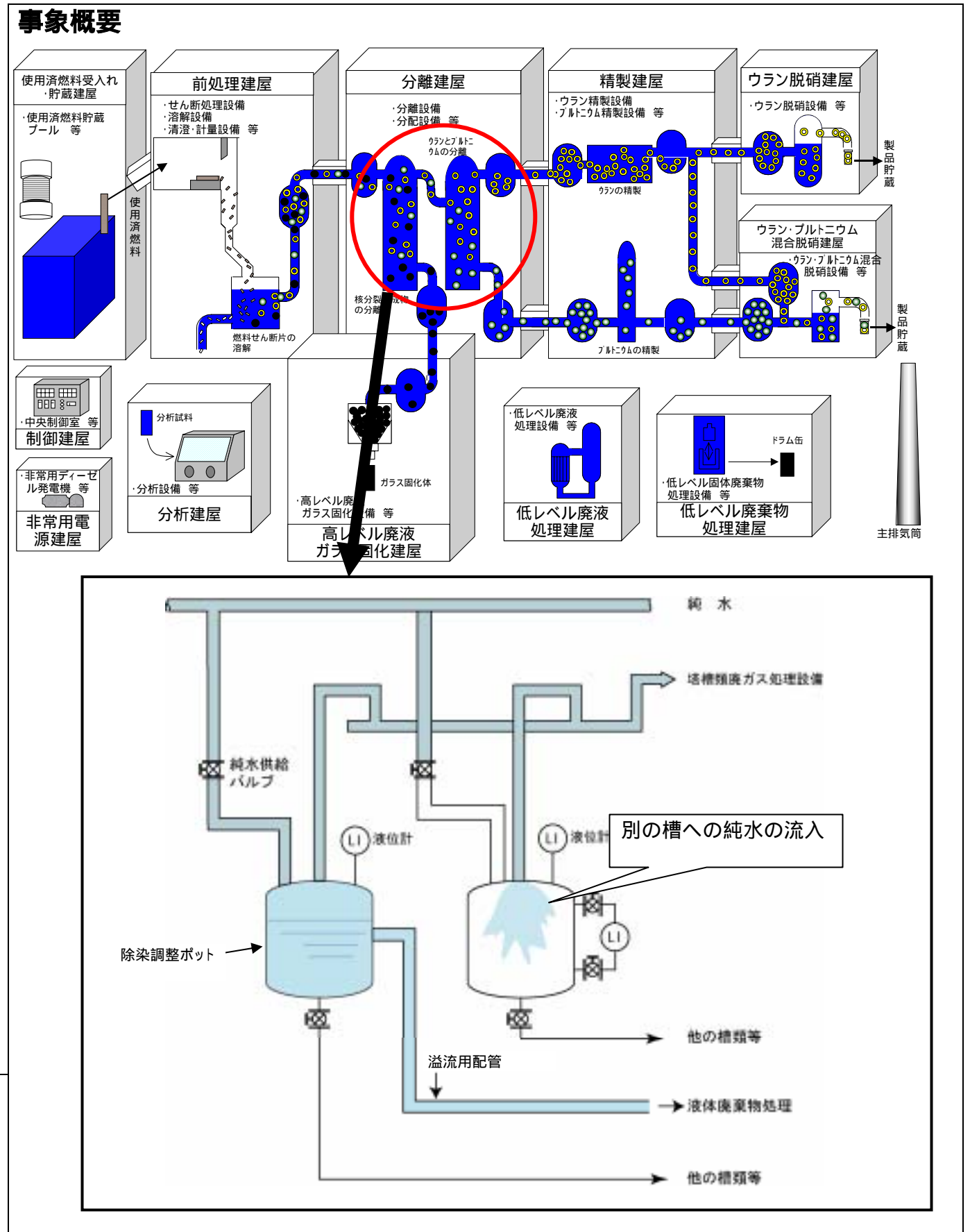
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-4)

<b>件名</b>	高レベル廃液濃縮缶における真空度低下																		
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 高レベル廃液濃縮缶</p> <p>(2) 発生の状況 高レベル廃液濃縮缶運転中</p> <p>(3) 概要 水封が切れて、濃縮缶内に空気が流れ込み、濃縮缶内の真空度が低下し、濃縮缶の加熱停止</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な故障等の発生が予想される。</p>																		
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している濃縮缶内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 濃縮缶内の真空度の低下に伴い濃縮缶が停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。(ウラン試験中は安全上重要な設備ではない)</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 復旧作業は、放射性物質を直接扱わないため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>上流の工程の運転に影響が生じる。</b> 濃縮缶の運転の一時停止に伴い、濃縮缶の運転に影響が生じる。上流の分離建屋の工程はその中間にある一時貯留槽(抽出廃液中間貯槽等)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>																		
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 供給ラインの水封が切れていることを確認する。</p> <p>(2) 定められた作業手順に従って、供給ラインの水封にシール水を補給する。</p> <p>(3) シール水補給後に、高レベル廃液濃縮缶の減圧(負圧)を確認し、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p>																		
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)																		
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 10%;">(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="width: 10%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 10%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 10%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル <span style="float: right;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</span>                  (レベル2以下は工場外への影響はない)             </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">                 放射線物質の外部防出 工場外への影響                  放射線物質による汚染、被ばく等 工場内への影響                  運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化             </p>		(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止		国際評価尺度 (INES) のレベル <span style="float: right;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</span> (レベル2以下は工場外への影響はない)						日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>				
	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止														
	国際評価尺度 (INES) のレベル <span style="float: right;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</span> (レベル2以下は工場外への影響はない)																		
	日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>																		



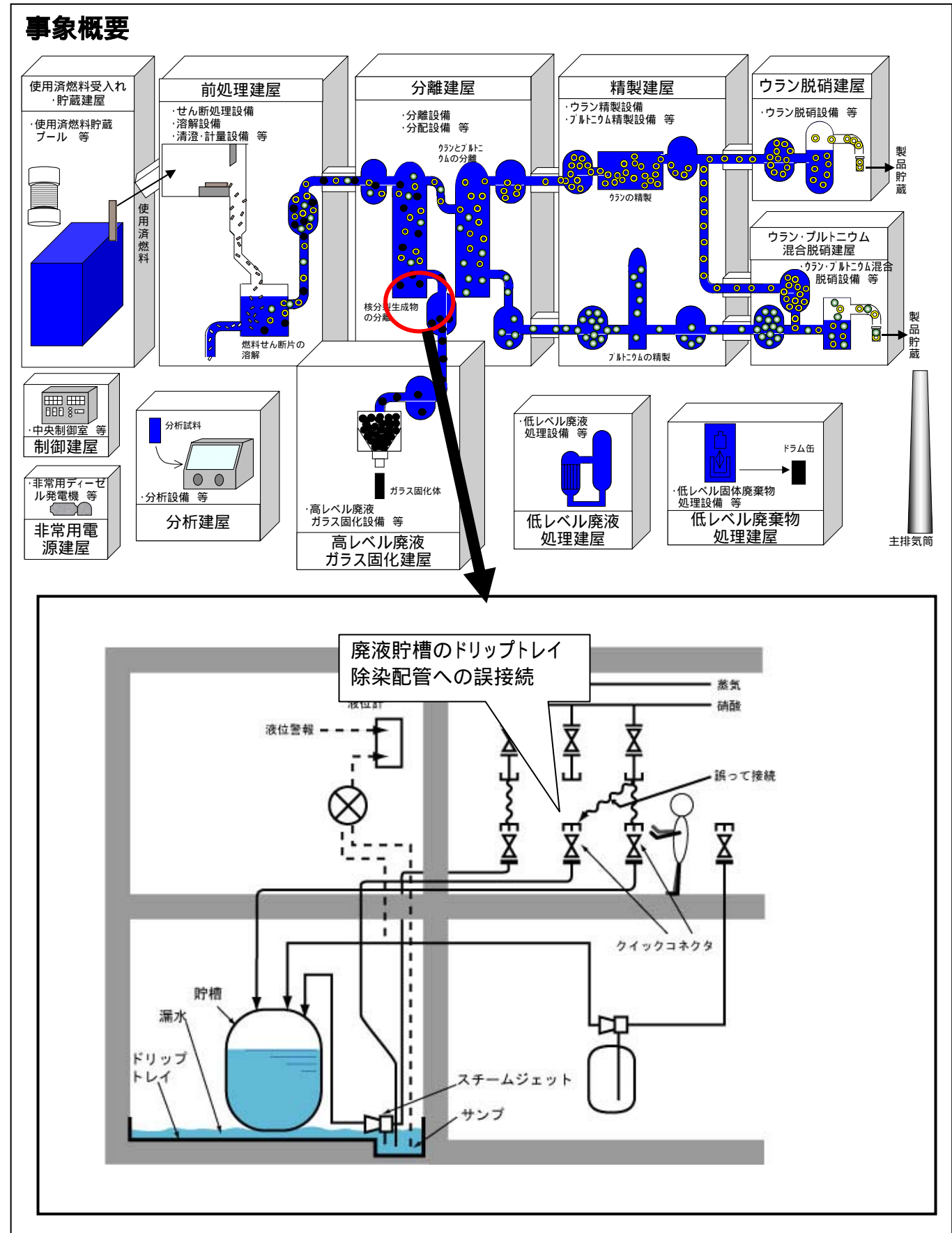
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-5)

<b>件名</b>	塔槽類廃ガス処理設備からの別の槽への純水の流入																												
<b>事象の概要</b>																													
(1) 発生場所・機器	分離建屋：除染調整ポット																												
(2) 発生の状況	分離設備の運転中																												
(3) 概要	除染調整ポットへの純水供給操作中の供給量過大に伴う、除染調整ポットの溢流用配管の送液可能量超えによる、塔槽類廃ガス処理設備を経由した別の槽への純水の流入  * 他の建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。																												
<b>事象による影響</b>																													
(1) 工場外への影響	<b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋内の塔槽類廃ガス処理設備が稼働している系内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。																												
(2) 安全性への影響	<b>安全上の問題は生じない。</b> 微量の放射性物質を含むが純水の過剰供給により塔槽類廃ガス処理設備へ流出したがベント系の換気フィルタ等は建屋の高い位置に設置されているため、途中の貯槽へ流入することはあっても、廃ガス処理設備に達することはないので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。																												
(3) 作業員への影響	<b>作業員への影響は生じない。</b> 復旧作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。																												
(4) 他工程への影響	<b>下流の工程の運転に影響が生じる。</b> 塔槽類廃ガス処理設備から純水を排水し、塔槽類排ガス処理設備の機能を確認し、再起動するまでの間、当該系統に接続する工程に影響が生じる。																												
<b>対応の概要</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 純水供給バルブを停止する。</li> <li>(2) 貯槽への純水供給の過剰が原因で溢流したことを確認する。</li> <li>(3) 塔槽類廃ガス処理系へ溢流した純水は定められた操作手順に従って処理する。</li> <li>(4) 各貯槽の液位が正常なレベルに復旧したことが及び塔槽類廃ガス処理設備が正常であることを確認した後、定められた操作手順に従って運転を再開する。</li> </ol>																												
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)																												
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;">                     (a) 運転継続しながら復旧                      (b) 運転系統を切り替えて復旧                      (c) 当該機器を停止して復旧                      (d) 当該設備を停止して復旧                      (e) 影響範囲の設備を停止                 </td> <td style="width: 70%; vertical-align: top;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">国際評価尺度 (INES) のレベル</td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%; vertical-align: middle;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない) →</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本原燃による評価:</td> <td style="text-align: center;">レベル0以下</td> <td style="vertical-align: middle;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">運転時・保守時からの逸脱等</td> <td style="vertical-align: middle;">多重防護の劣化</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">国際評価尺度 (INES) のレベル</td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%; vertical-align: middle;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない) →</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本原燃による評価:</td> <td style="text-align: center;">レベル0以下</td> <td style="vertical-align: middle;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">運転時・保守時からの逸脱等</td> <td style="vertical-align: middle;">多重防護の劣化</td> </tr> </table>	国際評価尺度 (INES) のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	工場外への影響		← (レベル2以下は工場外への影響はない) →			放射性物質の外部放出		日本原燃による評価:	レベル0以下	工場内への影響		放射性物質による汚染、被ばく等			運転時・保守時からの逸脱等	多重防護の劣化
(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">国際評価尺度 (INES) のレベル</td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%; vertical-align: middle;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない) →</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本原燃による評価:</td> <td style="text-align: center;">レベル0以下</td> <td style="vertical-align: middle;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">運転時・保守時からの逸脱等</td> <td style="vertical-align: middle;">多重防護の劣化</td> </tr> </table>	国際評価尺度 (INES) のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	工場外への影響		← (レベル2以下は工場外への影響はない) →			放射性物質の外部放出		日本原燃による評価:	レベル0以下	工場内への影響		放射性物質による汚染、被ばく等			運転時・保守時からの逸脱等	多重防護の劣化		
国際評価尺度 (INES) のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> </table>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	工場外への影響																			
0以下	1	2	3	4	5	6	7																						
	← (レベル2以下は工場外への影響はない) →																												
	放射性物質の外部放出																												
日本原燃による評価:	レベル0以下	工場内への影響																											
	放射性物質による汚染、被ばく等																												
	運転時・保守時からの逸脱等	多重防護の劣化																											



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-6)

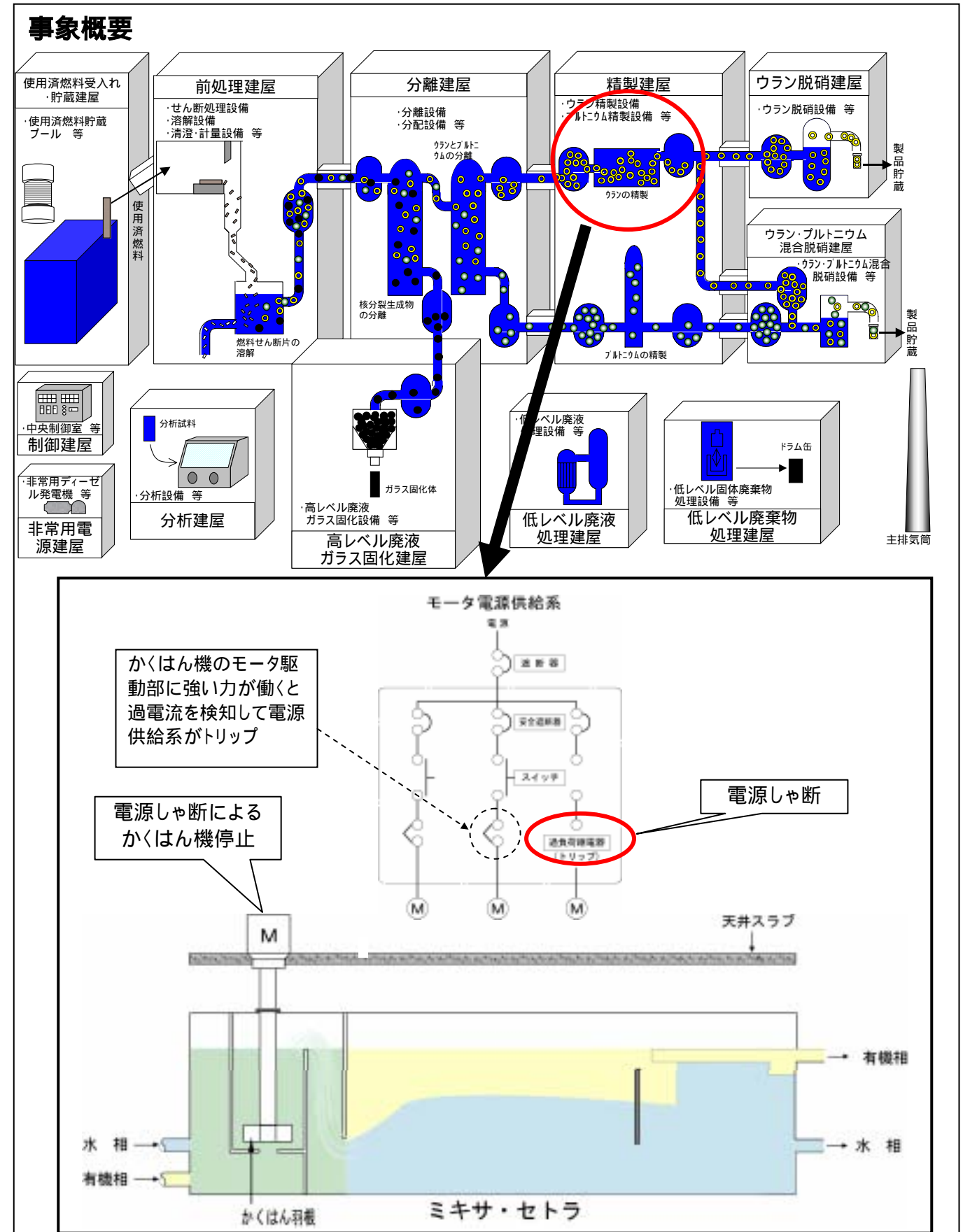
<b>件名</b>	漏えい液受皿の液位上昇																																																		
<b>事象の概要</b> (1) 発生場所: 機器 (2) 発生の状況 (3) 概要	分離建屋: 高レベル廃液濃縮設備  高レベル廃液濃縮設備の運転中  高レベル廃液濃縮設備の廃液貯槽への洗浄用希硝酸の供給作業の際、廃液貯槽のドリフトレイ除染配管への誤接続に伴う、漏えい液受皿(ドリフトレイ)の液位(レベル高)警報の発報  * 他の建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。																																																		
<b>事象による影響</b> (1) 工場外への影響 (2) 安全性への影響 (3) 作業員への影響 (4) 他工程への影響	(1) <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働しているセル内における事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。  (2) <b>安全上の問題は生じない。</b> 誤って漏えい液受皿に希硝酸を送液したことが、漏えい液受皿の液位異常(レベル高)警報の作動により確認でき、その後適切に抜き出し処理を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。  (3) <b>作業員への影響は生じない。</b> 非放射性試薬配管の誤接続は、放射性物質を直接扱わないため、作業員への影響は生じない。  (4) <b>他工程への影響は生じない。</b> 漏えい液受皿への送液により廃液処理設備への計画外の廃液処理が生じるが、漏えい液受皿に送液された希硝酸はスチームジェットにより送液され適切に処理されるので他工程への影響は生じない。																																																		
<b>対応の概要</b>	(1) 誤って廃液貯槽の漏えい液受皿に注水を行って液位(レベル高)の警報が発報したことを確認する。 (2) 漏えい液受皿内の溶液をサンプリングして汚染の有無を確認する。(貯槽からの漏えいによる汚染がある場合を想定して対応する。) (3) 定められた操作手順に従って、漏えい液受皿内の溶液を廃液貯槽へ抜き出し処理を行う。																																																		
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																																																		
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: middle;">                             国際評価尺度 (INES) のレベル                               日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>  <small>放射性物質による汚染、被ばく等 運転時制限からの逸脱等 多重防護の劣化</small> </td> <td style="width: 15%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="text-align: center;">(レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="8" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="text-align: center;">工場外への影響</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="text-align: center;">工場内への影響</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td style="text-align: center;">多重防護の劣化</td> <td colspan="8"></td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> <small>放射性物質による汚染、被ばく等 運転時制限からの逸脱等 多重防護の劣化</small>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(レベル2以下は工場外への影響はない)	放射性物質の外部放出								(c) 当該機器を停止して復旧	工場外への影響									(d) 当該設備を停止して復旧	工場内への影響									(e) 影響範囲の設備を停止	多重防護の劣化								
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> <small>放射性物質による汚染、被ばく等 運転時制限からの逸脱等 多重防護の劣化</small>	0以下		1	2	3	4	5	6	7																																									
(b) 運転システムを切り替えて復旧		(レベル2以下は工場外への影響はない)		放射性物質の外部放出																																															
(c) 当該機器を停止して復旧		工場外への影響																																																	
(d) 当該設備を停止して復旧		工場内への影響																																																	
(e) 影響範囲の設備を停止		多重防護の劣化																																																	





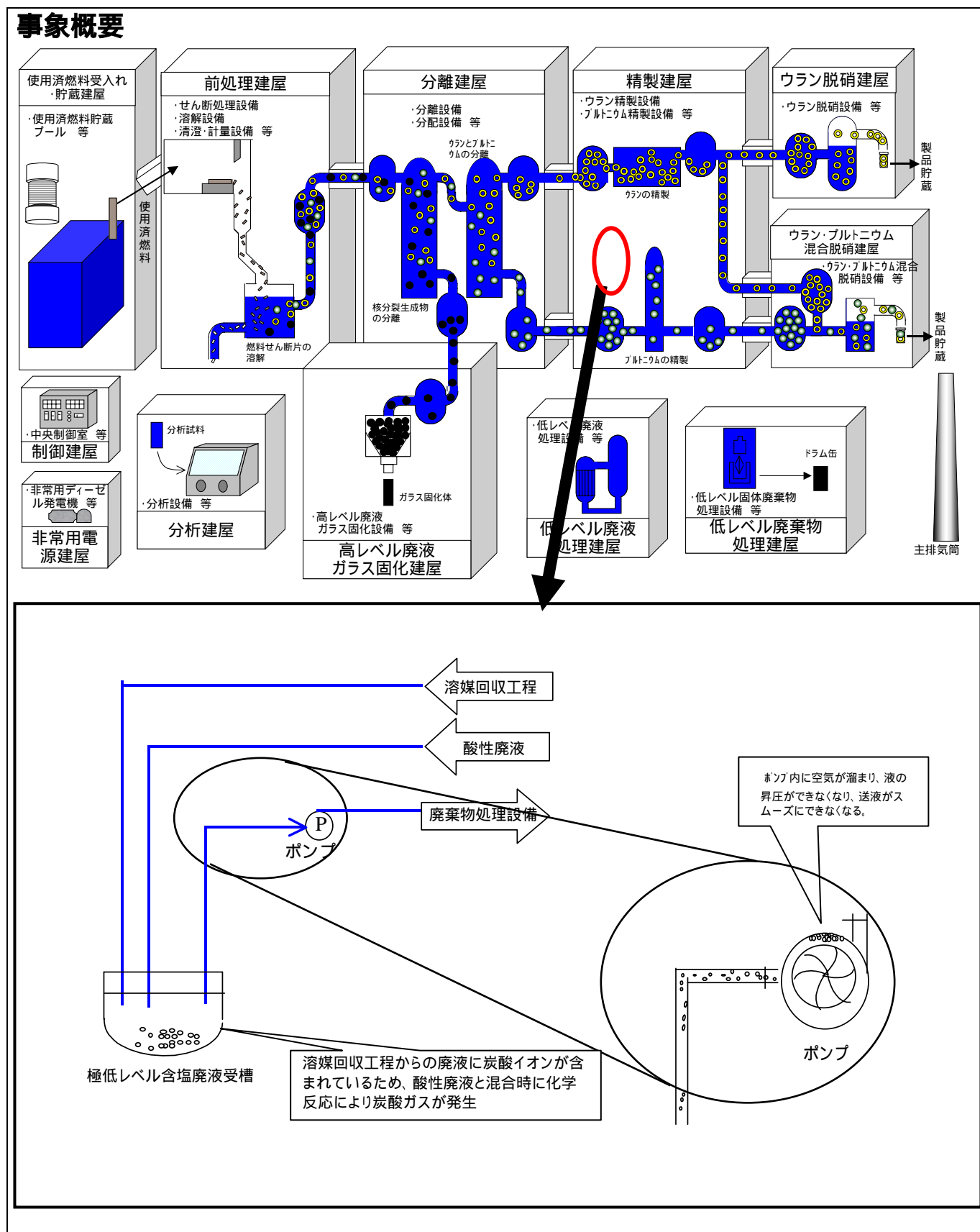
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-7)

<b>件名</b>	ミキサ・セトラにおけるかくはん機モータの過負荷									
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: ミキサ・セトラ (ウラン精製設備)</p> <p>(2) 発生の状況 ミキサ・セトラの運転中</p> <p>(3) 概要 ミキサ・セトラに設置されているかくはん機のモータへの電源供給系のトリップ (電源しゃ断) による、かくはん機の停止</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>									
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> ウラン精製設備のミキサ・セトラのかくはん機が停止しても、精製建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している抽出器内での事象なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> モータの電源系の過負荷を検知して安全にかくはん機が自動停止したので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> モータの復旧作業は放射性物質に関連した作業ではなく、また、ミキサ・セトラかくはん機の復旧作業はセル外からの MERC を用いた遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> ミキサ・セトラの停止により、ウラン精製設備前後の工程の運転に影響が生じる。さらに、上流、下流の分離建屋、ウラン脱硝建屋の工程は、その中間にある一時的な貯留槽 ( 上流: ウラン溶液供給槽、下流: ウラン濃縮液中間貯槽 ) の貯留液量で運転継続の可否を判断する。</p>									
<b>対応の概要</b>	<p>(1) ウラン精製工程を一時的に停止する。</p> <p>(2) 電源系の過負荷の故障原因として想定されるモータ等を定められた保守作業手順に従って点検する。</p> <p>(3) 原因によっては、モータ等を定められた保守作業手順に従って交換を行い、作動試験により健全性を確認した後、定められた操作手順に従って運転を再開する。</p>									
<b>公表区分</b>	翌平日に公表 ( ホームページへ掲載 )									
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">放射性物質の外部放出</span> <span style="font-size: small;">工場外への影響</span></p> <p>日本原燃による評価: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レベル0以下</span> <span style="font-size: small;">放射性物質による汚染、被ばく等</span> <span style="font-size: small;">工場内への影響</span></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">運転制限範囲からの逸脱等</span> <span style="font-size: small;">多重防護の劣化</span></p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
0以下	1	2	3	4	5	6	7			



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-8)

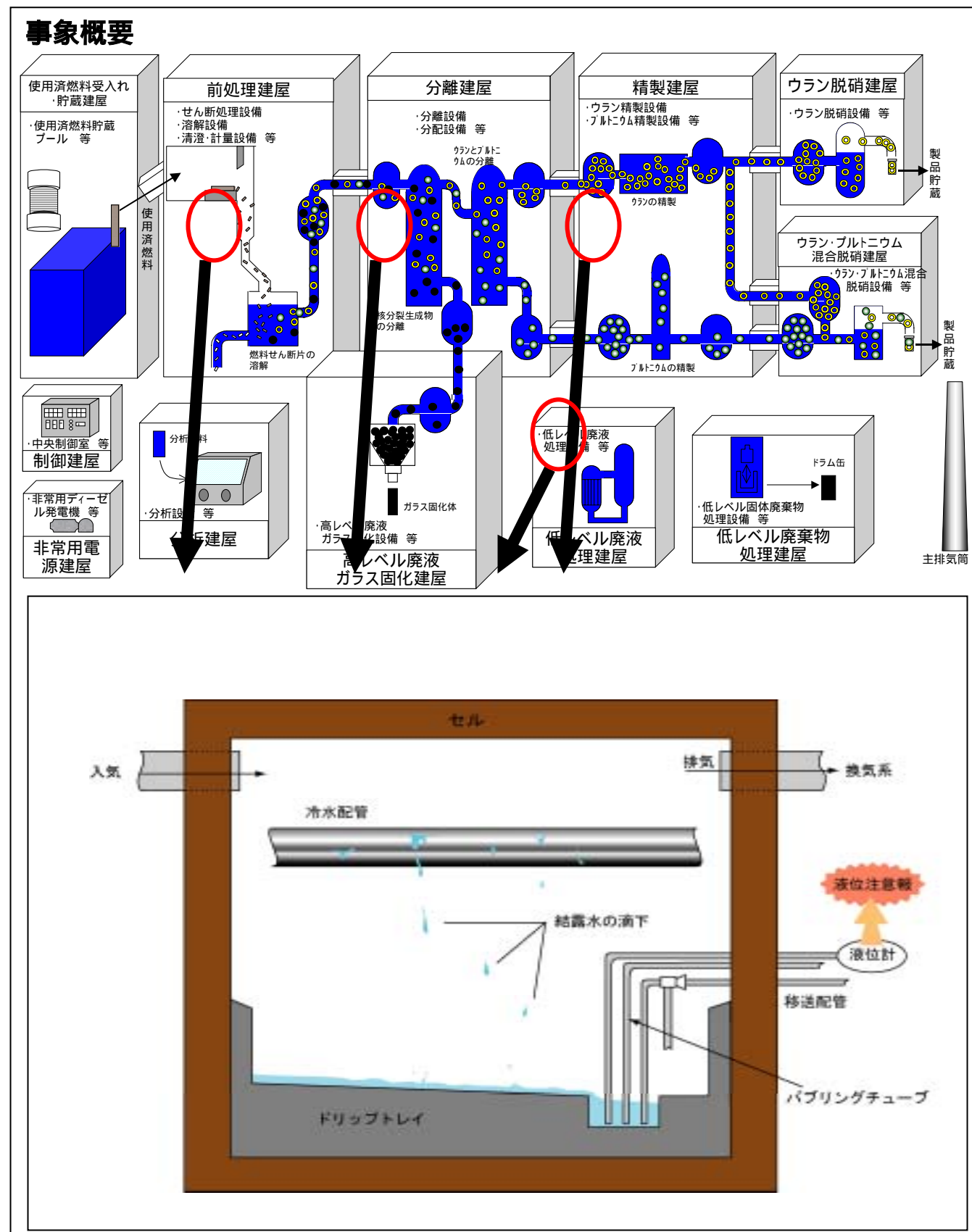
<b>件名</b>	極低レベル含塩廃液受槽廃液移送ポンプの空気の混入によるポンプの動作不良																																																		
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: 極低レベル含塩廃液受槽</p> <p>(2) 発生の状況 極低レベル含塩廃液受槽ポンプの運転中</p> <p>(3) 概要 溶媒回収工程からの炭酸塩廃液と酸廃液の混合に伴う化学反応による炭酸ガスの発生と廃液移送ポンプのキャピテーション(空気の混入によるポンプの動作不良)発生</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても同様の故障等の発生が予想される。</p>																																																		
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 精製建屋の塔槽類廃ガス処理設備稼働している極低レベル含塩廃液受槽及び移送ポンプ内での事象なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 遠心ポンプにおけるキャピテーションは、溶液の移送性能を著しく低下させるなどの問題がある。再処理工場に設置されているポンプは比較的小型のものであり、ポンプ内で発生した気泡を容易に除去、排出することができるので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> ポンプの復旧作業は中央制御室からポンプ前後のバルブ操作となるので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>上流の設備の運転に影響が生じる。</b> 移送ポンプのキャピテーションにより一時的にポンプを停止させる必要があるが、吸引側バルブと吐出側バルブを調整することで、ポンプ内の気体を容易に排出できるので、運転への影響は生じない。ただし、炭酸塩と硝酸による中和反応による炭酸ガスの発生は持続的に起こるので、反応が収まる一定時間はポンプの運転を停止する必要がある。</p>																																																		
<b>対応の概要</b>	<p>(1) ポンプを停止する。</p> <p>(2) 炭酸塩と硝酸の化学反応に起因する炭酸ガス発生が原因のキャピテーションであることを確認する。</p> <p>(3) 酸性廃液と炭酸塩廃液との混合による化学反応が生じた場合は、廃液の受入れを停止するとともに、反応ガスの放出を待ってからポンプ移送を行う。</p>																																																		
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)																																																		
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>国際評価尺度 (INES) のレベル: 0以下 1 2 3 4 5 6 7  <small>(レベル2以下は工場外への影響はない)</small> 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転時 影響範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>		(a) 運転継続しながら復旧										(b) 運転システムを切り替えて復旧										(c) 当該機器を停止して復旧										(d) 当該設備を停止して復旧										(e) 影響範囲の設備を停止								
	(a) 運転継続しながら復旧																																																		
	(b) 運転システムを切り替えて復旧																																																		
	(c) 当該機器を停止して復旧																																																		
	(d) 当該設備を停止して復旧																																																		
	(e) 影響範囲の設備を停止																																																		





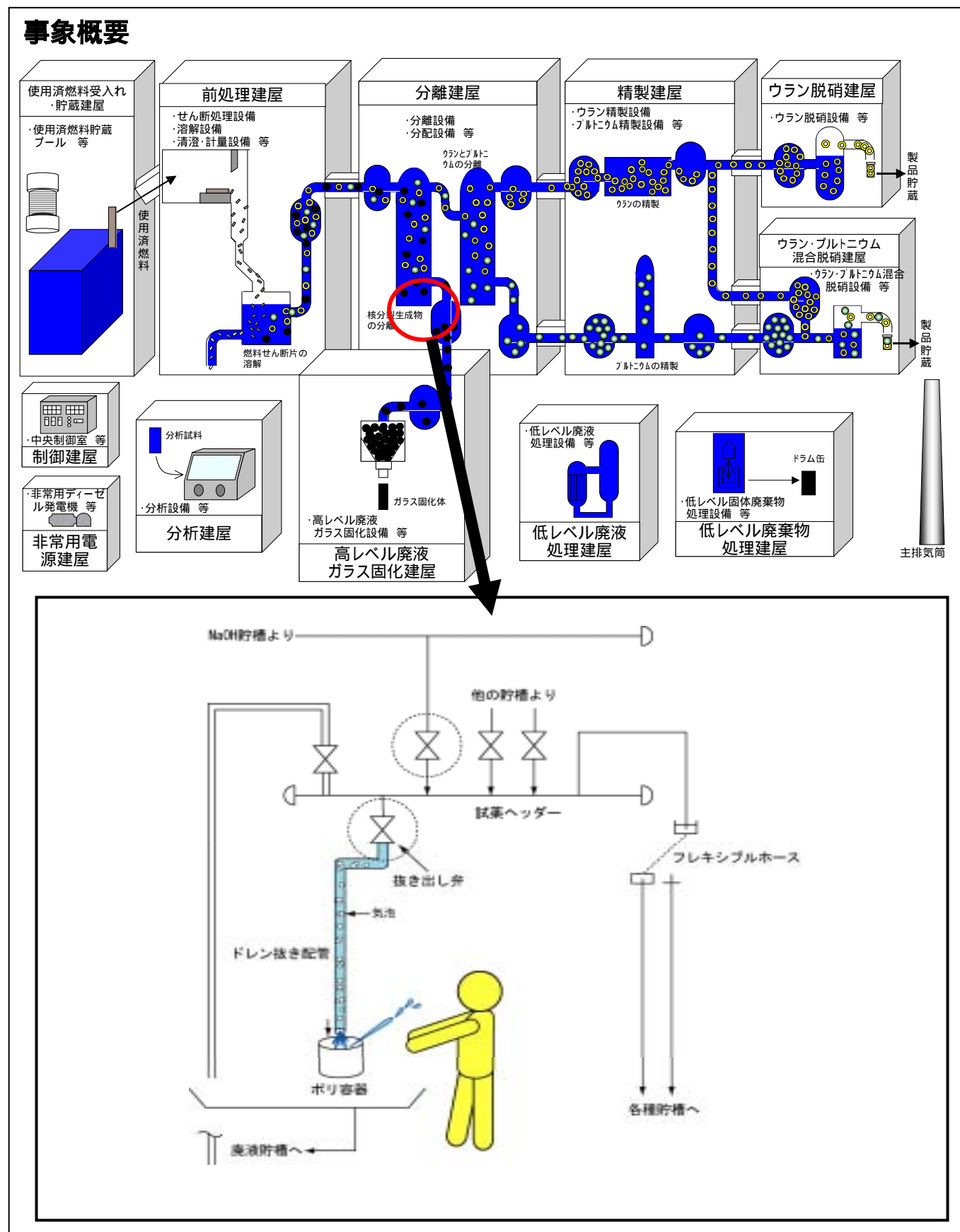
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-9)

<b>件名</b>	セル内結露水によるドリフトレイ注意報・警報の誤報											
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋、分離建屋、精製建屋、低レベル廃液処理建屋: 冷水等が通る機器・配管を有するセルに設置されたドリフトレイまたはポット</p> <p>(2) 発生の状況 運転中</p> <p>(3) 概要 セル内の冷水等が通る機器・配管に結露水が付着、それらが落下してセル床のドリフトレイに堆積し、ドリフトレイに堆積した結露水により漏えい検知警報を誤発報</p>											
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 誤報の原因が空気中に含まれる湿分が凝縮した結露水であり、また、建屋の換気設備が稼働しているエリアでの事象及び復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題はない。</b> 結露水は低レベル廃液処理建屋へ移送され、適切に処理されるため、これ以上の事象の進展はなく、安全性に問題はない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響はない。</b> サンプリング、分析及び結露水回収作業等は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 結露水は低レベル廃液処理建屋へ移送され、適切に処理されるため、他工程への影響は生じない。</p>											
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 注意報が発報した時点で迅速なサンプリング及び分析確認を行い、結露水であることを確認する。</p> <p>(2) 結露水を回収するため、低レベル廃液処理建屋へ移送する。</p> <p>(3) 結露水の発生を防止するため、ウラン試験期間中に除湿機を追設してセル内の空気を除湿する予定である。</p>											
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)											
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 60%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;">0以下</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</div> </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">放射線物質の外部放出 <span style="float: right;">工場外への影響</span></p> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">放射線物質による汚染、被ばく等 <span style="float: right;">工場内への影響</span></p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">運転時制限範囲からの逸脱等 <span style="float: right;">多重防護の劣化</span></p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	○	(a) 運転継続しながら復旧	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;">0以下</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</div> </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">放射線物質の外部放出 <span style="float: right;">工場外への影響</span></p> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">放射線物質による汚染、被ばく等 <span style="float: right;">工場内への影響</span></p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">運転時制限範囲からの逸脱等 <span style="float: right;">多重防護の劣化</span></p>		(b) 運転システムを切り替えて復旧		(c) 当該機器を停止して復旧		(d) 当該設備を停止して復旧		(e) 影響範囲の設備を停止
○	(a) 運転継続しながら復旧	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;">0以下</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</div> </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">放射線物質の外部放出 <span style="float: right;">工場外への影響</span></p> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">放射線物質による汚染、被ばく等 <span style="float: right;">工場内への影響</span></p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">運転時制限範囲からの逸脱等 <span style="float: right;">多重防護の劣化</span></p>										
	(b) 運転システムを切り替えて復旧											
	(c) 当該機器を停止して復旧											
	(d) 当該設備を停止して復旧											
	(e) 影響範囲の設備を停止											



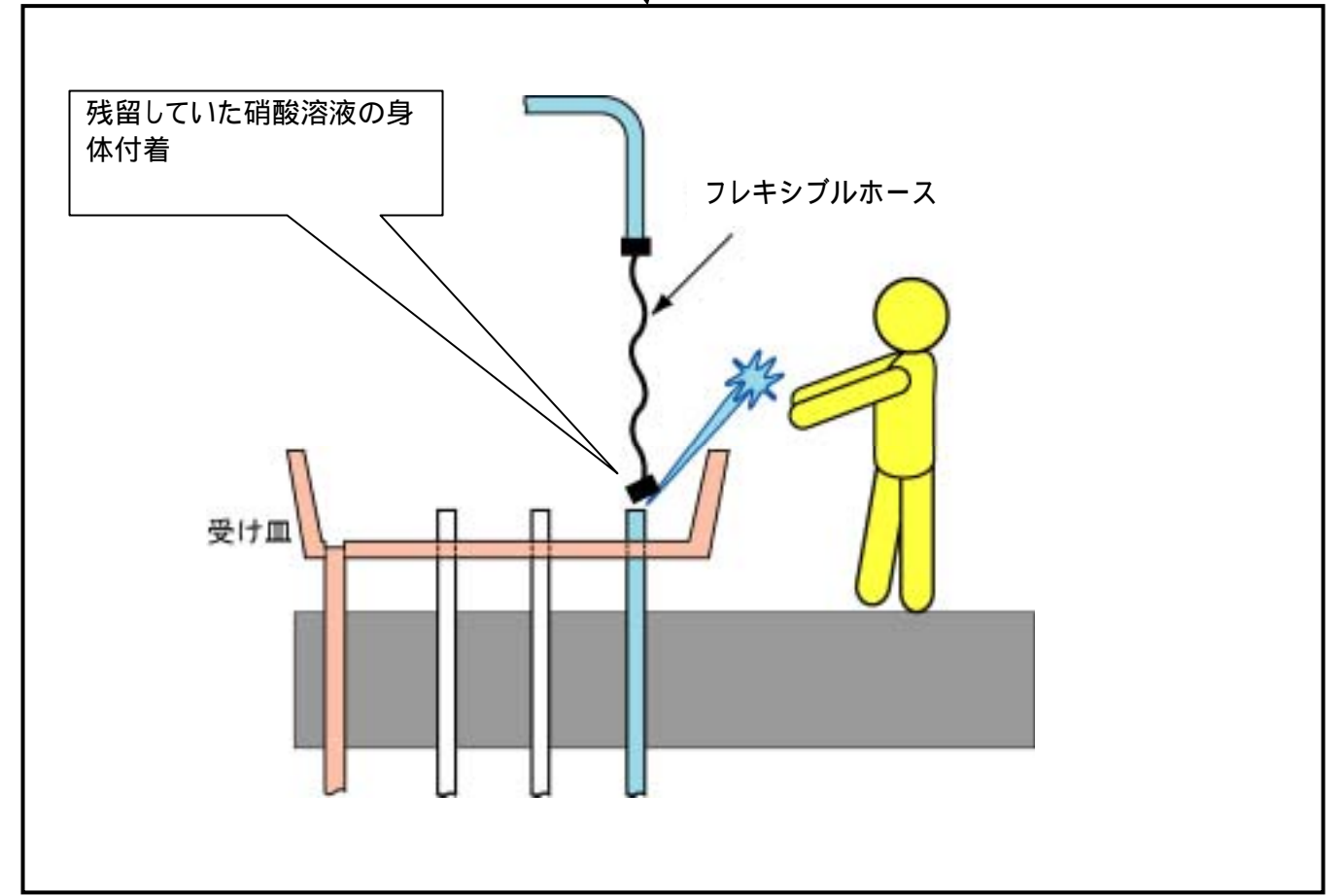
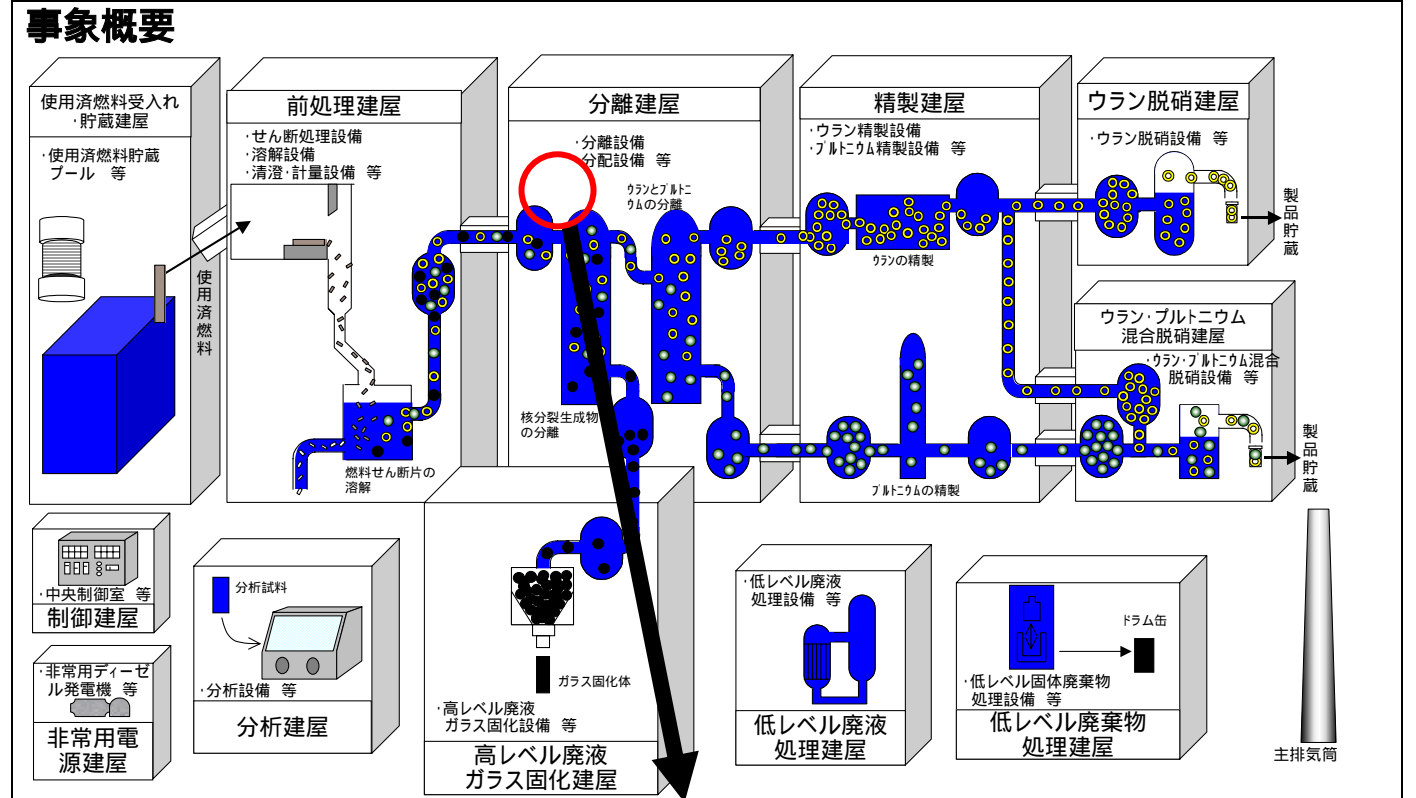
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9 - 10)

<b>件名</b>	水酸化ナトリウム溶液の飛散による作業員への付着																																	
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 発生の状況</p> <p>(3) 概要</p> <p>分離建屋: 除染試薬設備</p> <p>除染試薬設備の運転中</p> <p>pH調整用の水酸化ナトリウム溶液を除染試薬設備の試薬配管からポリ容器へ注入作業を実施していたところ、作業の最終段階で配管内に溜まっていた空気が噴き出したため、容器に入っていた水酸化ナトリウム溶液が少量飛散し、その一部が作業員の顔に付着、直ちに水洗浄を実施</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。</p>																																	
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響</p> <p><b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働している建屋内における事象なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p><b>安全上の問題は生じない。</b> 放射性物質を含まない水酸化ナトリウム溶液の建屋内での少量飛散であり、また、飛散した水酸化ナトリウム溶液は定められた手順に従って回収することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p><b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員は必要な防護具を着用しており、また身体に付着した水酸化ナトリウムは直ちに洗浄を行うことにより作業員の安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響</p> <p><b>他工程への影響は生じない。</b> 試薬配管からの抜き出し弁を閉めることにより他工程への影響は生じない。</p>																																	
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 試薬配管からの抜き出し弁を閉める。</p> <p>(2) 水酸化ナトリウム溶液が付着した身体を水により洗浄する。</p> <p>(3) 定められた作業手順に従って、水酸化ナトリウム溶液を回収する。</p> <p>(4) 念のため病院にて医療措置を実施する。</p>																																	
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																																	
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 10%;">(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="width: 10%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 10%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 10%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                 <table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 (レベル2以下は工場外への影響はない)                 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">放射性物質の外部放出</span> <span style="float: right;">工場外への影響</span> </td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">放射性物質による汚染、被ばく等</span> <span style="float: right;">工場内への影響</span> </td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 運転時影響範囲からの逸脱等                 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">多重防護の劣化</span> </td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル <table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7	(レベル2以下は工場外への影響はない) <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">放射性物質の外部放出</span> <span style="float: right;">工場外への影響</span>					日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">放射性物質による汚染、被ばく等</span> <span style="float: right;">工場内への影響</span>					運転時影響範囲からの逸脱等 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">多重防護の劣化</span>				
(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止																														
国際評価尺度 (INES) のレベル <table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7																						
0以下	1	2	3	4	5	6	7																											
(レベル2以下は工場外への影響はない) <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">放射性物質の外部放出</span> <span style="float: right;">工場外への影響</span>																																		
日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">放射性物質による汚染、被ばく等</span> <span style="float: right;">工場内への影響</span>																																		
運転時影響範囲からの逸脱等 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">多重防護の劣化</span>																																		



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-11)

<b>件名</b>	フレキシブルホース取り外し作業時における硝酸溶液の身体付着
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 除染試薬設備フレキシブルホース</p> <p>(2) 発生の状況 除染試薬設備運転中</p> <p>(3) 概要 除染試薬設備のフレキシブルホース取り外し時における残留硝酸溶液の身体付着(作業員は病院で診察)</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働している室内での放射性物質を含まない硝酸溶液の作業員への付着であり、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 放射性物質を含まない硝酸溶液の作業員への付着であり、また、付近にこぼれた硝酸は定められた手順に従って回収するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業員は必要な防護具を着用しており、また身体に付着した硝酸は直ちに洗浄を行うことによって作業員の安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 作業員への硝酸溶液の付着であり、他の工程への影響は生じない。</p>
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 身体に付着した硝酸を水により洗浄する。</p> <p>(2) 付近に飛散した硝酸溶液を定められた手順に従って除去する。</p> <p>(3) 念のため、病院にて医療措置を実施する。</p>

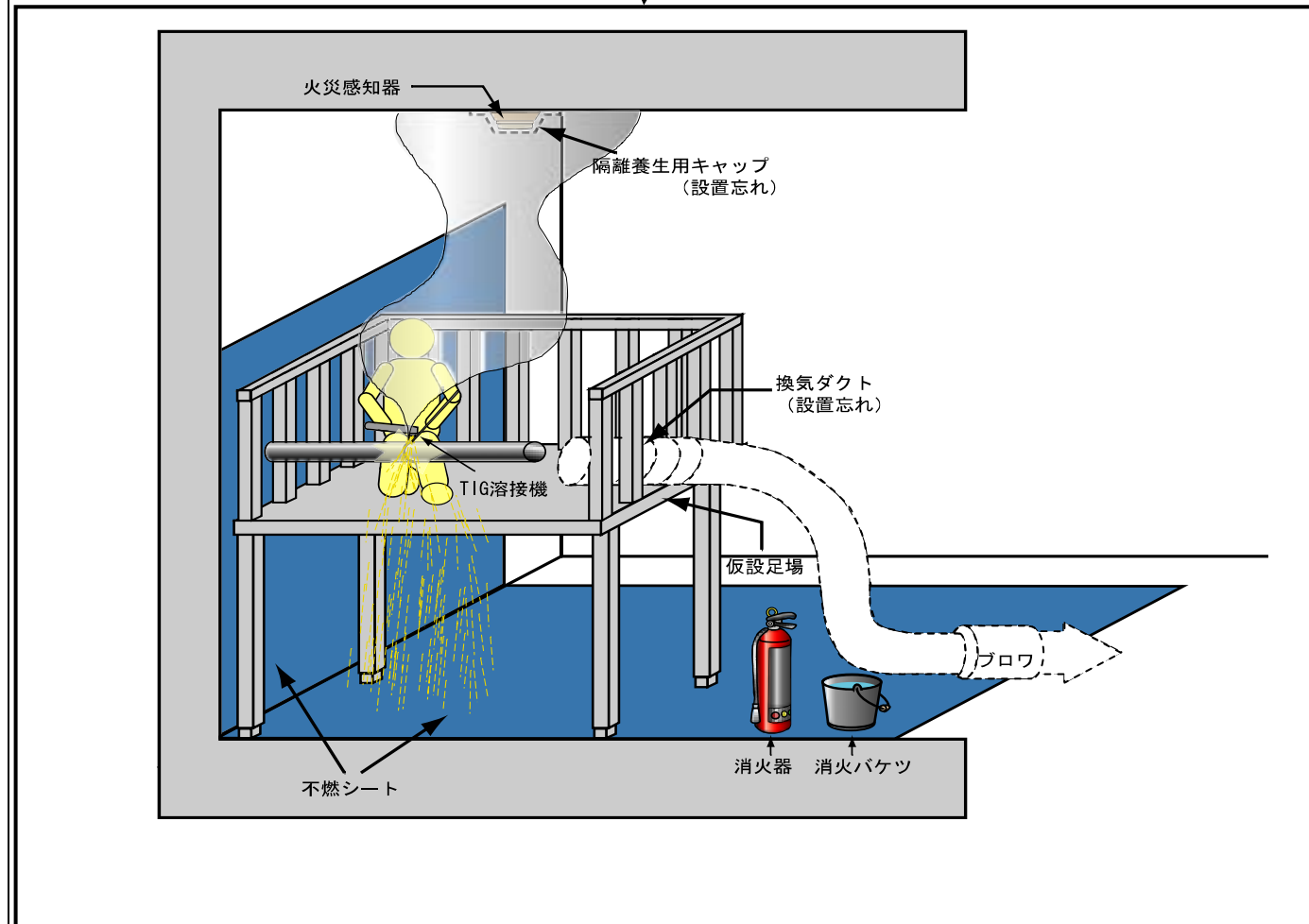
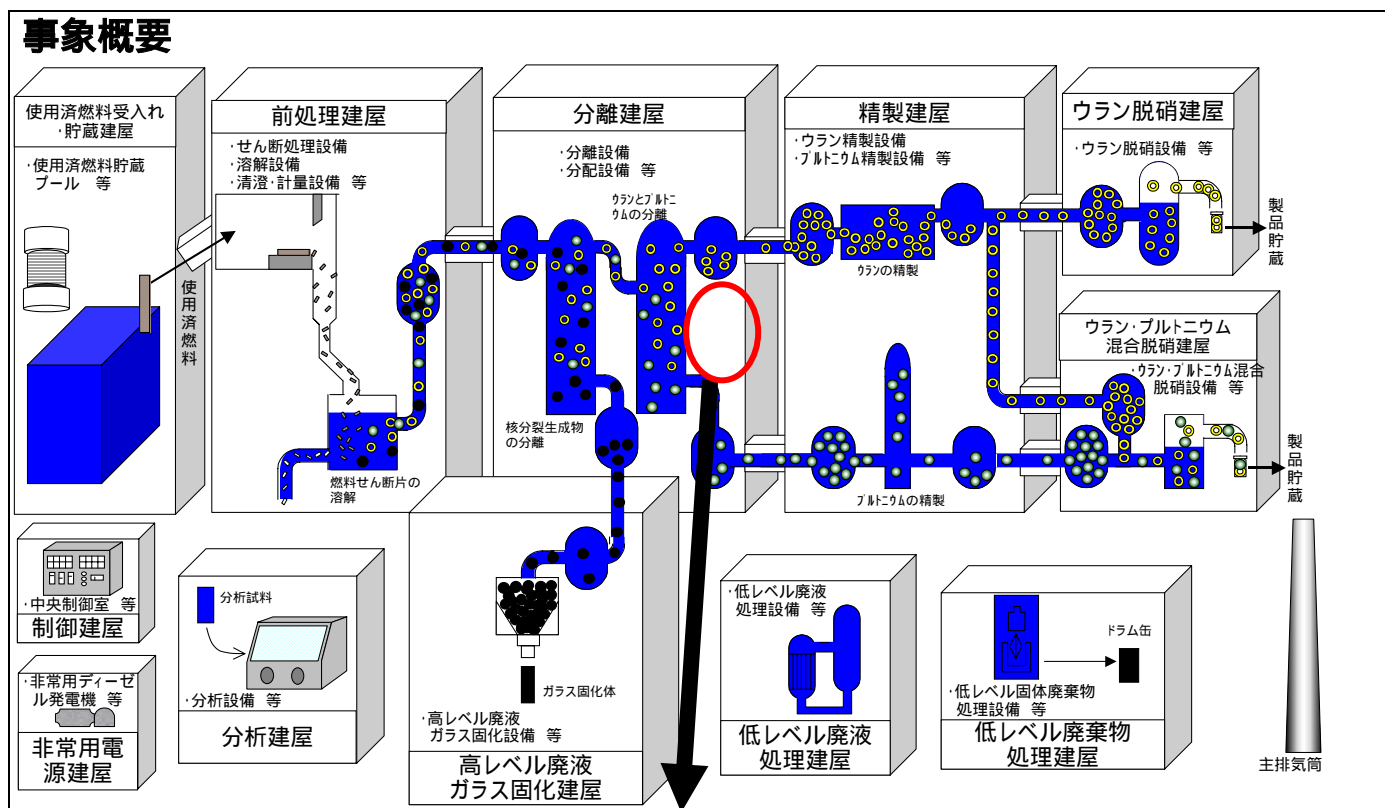


公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) → 放射性物質の外部放出 → 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 → 工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等 → 多重防護の劣化</p>
	(b) 運転系統を切り替えて復旧	
	(c) 当該機器を停止して復旧	
	(d) 当該設備を停止して復旧	
	(e) 影響範囲の設備を停止	



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-12)

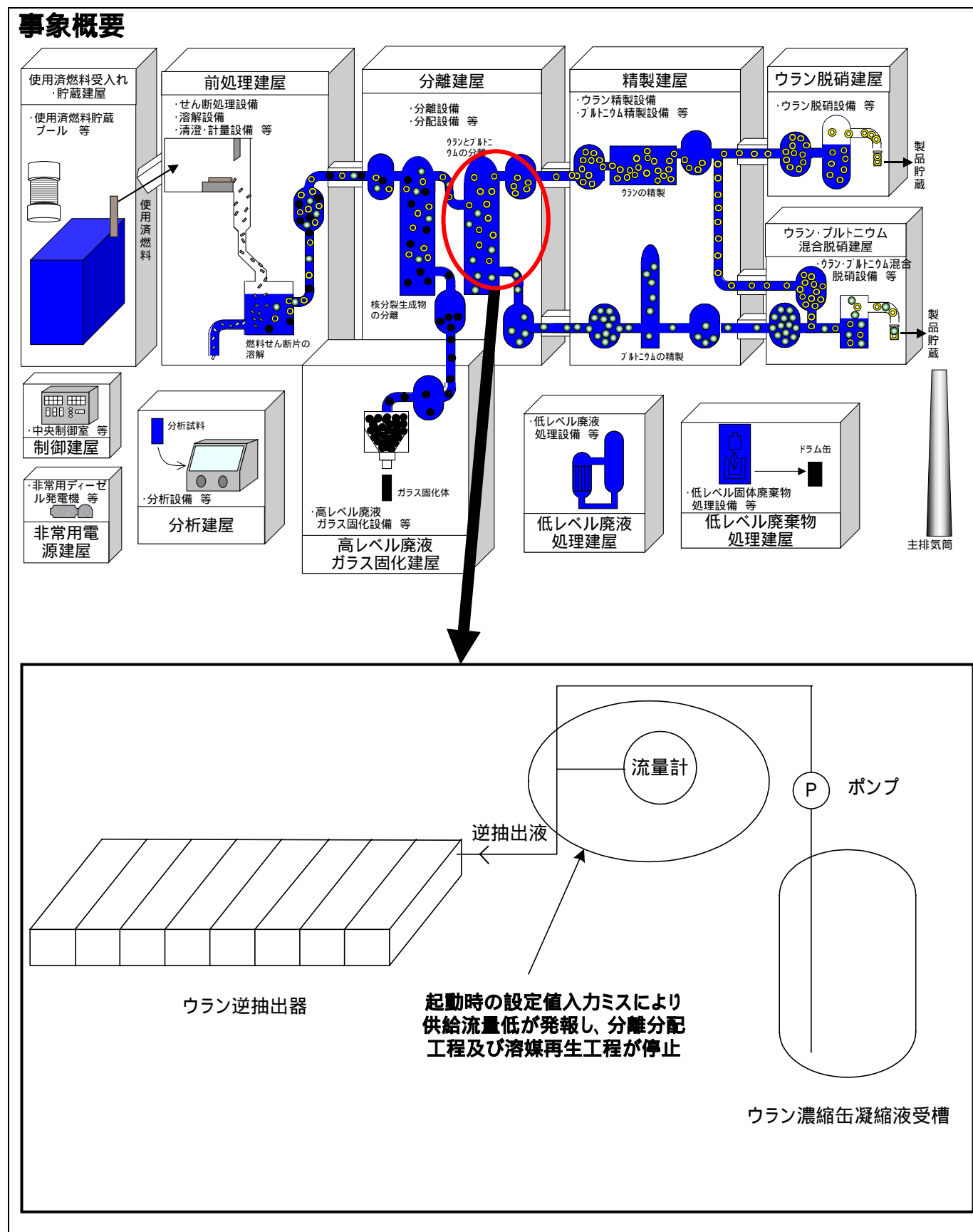
<b>件名</b>	火気作業時における火災報知器の発報
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 発生の状況</p> <p>(3) 概要</p> <p>配管の溶接作業開始前に換気ダクトの設置、火災感知器の隔離養生を忘れていたため、当該作業において発生した煙を火災感知器が感知し、火災警報が作動</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響</p> <p><b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p><b>安全上の問題は生じない。</b> 火災報知器の誤報であり、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p><b>作業員への影響は生じない。</b> 火災報知器の誤報であり、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響</p> <p><b>他工程への影響は生じない。</b> 火災報知器の誤報であり、他工程への影響は生じない。</p>
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 実火災がないことを確認する。</p> <p>(2) 換気ダクトの設置、火災報知器の隔離養生(作業中は火気監視員が常駐)を行った後、作業を再開する。</p>



公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)									
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射性物質の外部放出 → 工場外への影響</p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 → 工場内への影響</p> <p>多重防護の劣化</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
	0以下		1	2	3	4	5	6	7	
	(b) 運転システムを切り替えて復旧									
	(c) 当該機器を停止して復旧									
	(d) 当該設備を停止して復旧									
(e) 影響範囲の設備を停止										

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 9 - 13)

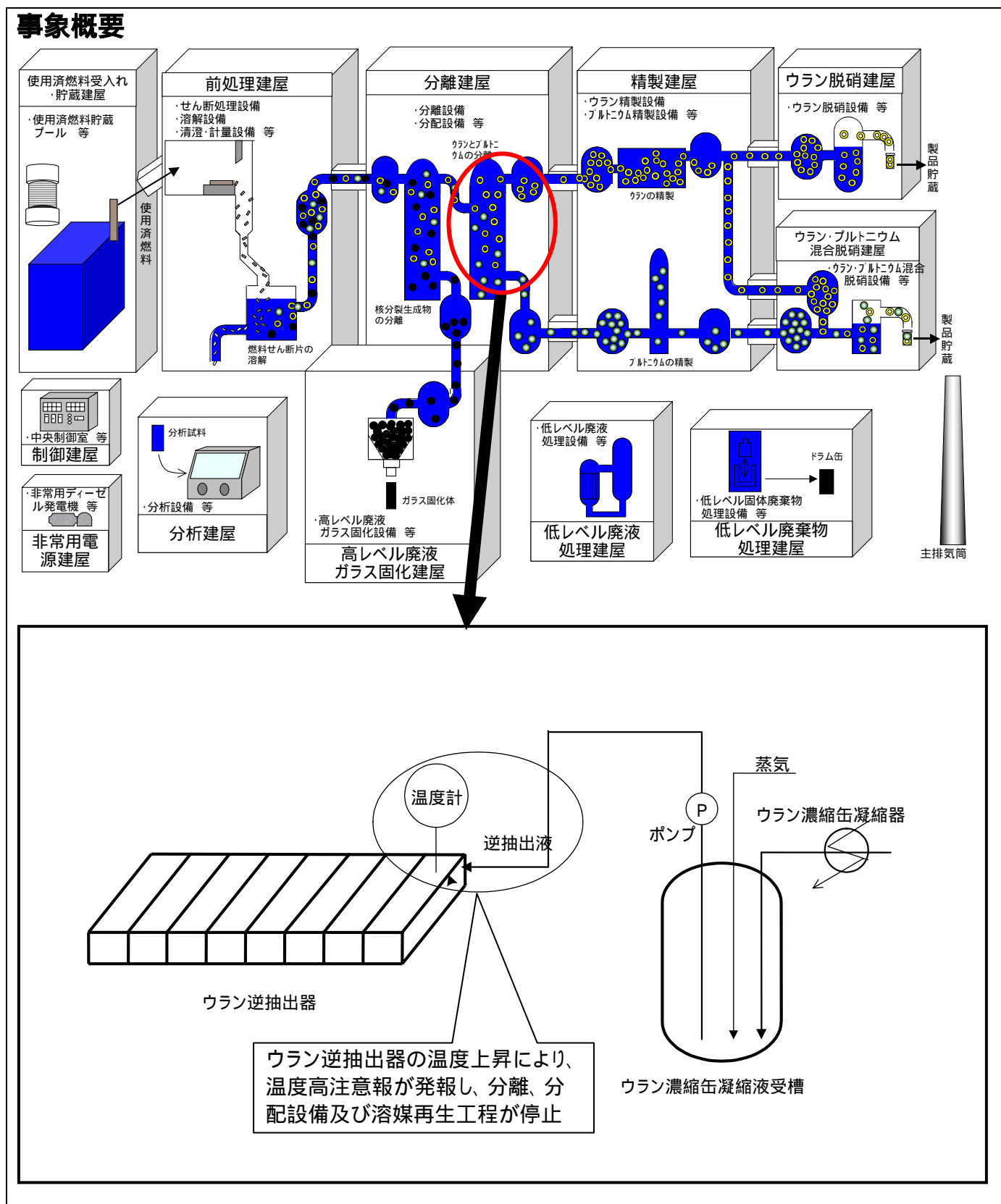
<b>件名</b>	設定値入力ミスによる分離分配工程の自動停止																																																			
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器      分離建屋: ウラン逆抽出器</p> <p>(2) 発生の状況      分離分配工程の起動操作中</p> <p>(3) 概要      起動時におけるウラン逆抽出液流量の設定値入力ミスにより、ウラン逆抽出液流量低発生により工程が自動停止</p> <p style="text-align: center;">* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>																																																			
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響      <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している設備内での設備停止事象なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響      <b>安全上の影響はない。</b> ウラン逆抽出液の流量低により工程が自動停止するので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響      <b>作業員への影響は生じない。</b> 起動操作は制御建屋より実施し、放射性物質を直接取扱う作業ではないため作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響      <b>下流の工程の運転に影響が生じる。</b> 分離・分配設備の自動停止に伴い、下流の溶媒再生工程の運転に影響が生じる。</p>																																																			
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 設定値の入力ミスにより工程が自動停止したことを確認する。</p> <p>(2) 設定値を確認して正しい値を入力する。</p> <p>(3) 通常の起動操作を行い、起動したことを確認する。</p>																																																			
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)																																																			
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 10%; text-align: center;">国際評価尺度 (INES) のレベル</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">(レベル2以下は工場外への影響はない)</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出      工場外への影響</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">日本原燃による評価: レベル0以下      放射性物質による汚染、被ばく等      工場内への影響</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">運転時中範囲からの逸脱等      多重防護の劣化</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル	0以下	1	2	3	4	5	6	7	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(レベル2以下は工場外への影響はない)									(c) 当該機器を停止して復旧	放射性物質の外部放出      工場外への影響									(d) 当該設備を停止して復旧	日本原燃による評価: レベル0以下      放射性物質による汚染、被ばく等      工場内への影響									(e) 影響範囲の設備を停止	運転時中範囲からの逸脱等      多重防護の劣化									
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル	0以下		1	2	3	4	5	6	7																																										
(b) 運転システムを切り替えて復旧		(レベル2以下は工場外への影響はない)																																																		
(c) 当該機器を停止して復旧		放射性物質の外部放出      工場外への影響																																																		
(d) 当該設備を停止して復旧		日本原燃による評価: レベル0以下      放射性物質による汚染、被ばく等      工場内への影響																																																		
(e) 影響範囲の設備を停止		運転時中範囲からの逸脱等      多重防護の劣化																																																		



起動操作中の事象であり、当該箇所の復旧が終了するまで、下流の工程も停止したままとする。

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 9 - 14)

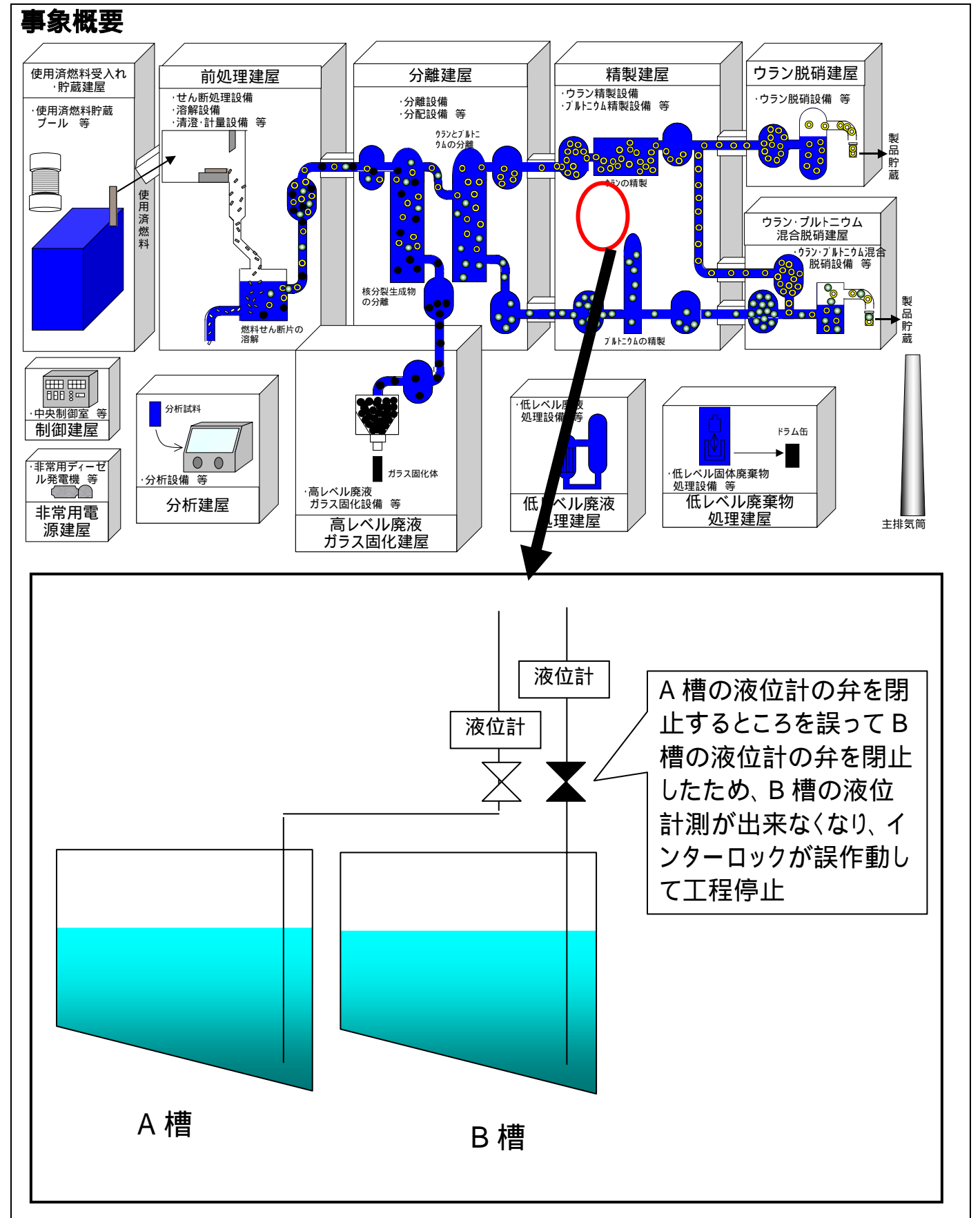
<b>件名</b>	ミキサ・セトラの温度上昇による分離・分配設備の自動停止	
<b>事象の概要</b>	分離建屋：ウラン逆抽出器 分離・分配設備の運転中 ウラン逆抽出器に供給しているウラン濃縮缶凝縮液受槽の液の温度を過剰に加温したため、ウラン逆抽出器内の液の温度が上昇し、温度高注意報発報によるインターロックの作動により分離・分配工程が自動停止 * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。	
<b>事象による影響</b>	(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している設備内での設備停止事象なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。 (2) 安全性への影響 <b>安全上の影響はない。</b> ウラン逆抽出用液の温度高注意報発報により工程が自動停止するので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。 (3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 運転操作は制御建屋より実施し、放射性物質を直接取扱う作業ではないため、作業員への影響は生じない。 (4) 他工程への影響 <b>下流の工程の運転に影響が生じる。</b> 分離・分配設備の自動停止に伴い、下流の溶媒再生工程の運転に影響が生じる。	
<b>対応の概要</b>	(1) 温度高注意報により工程が自動停止したことを確認する。 (2) ウラン逆抽出用液の温度を確認し、基準値内に調整する。 (3) 通常の起動操作により、運転を再開する。	
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時影響範囲からの逸脱等 多重防護の劣化





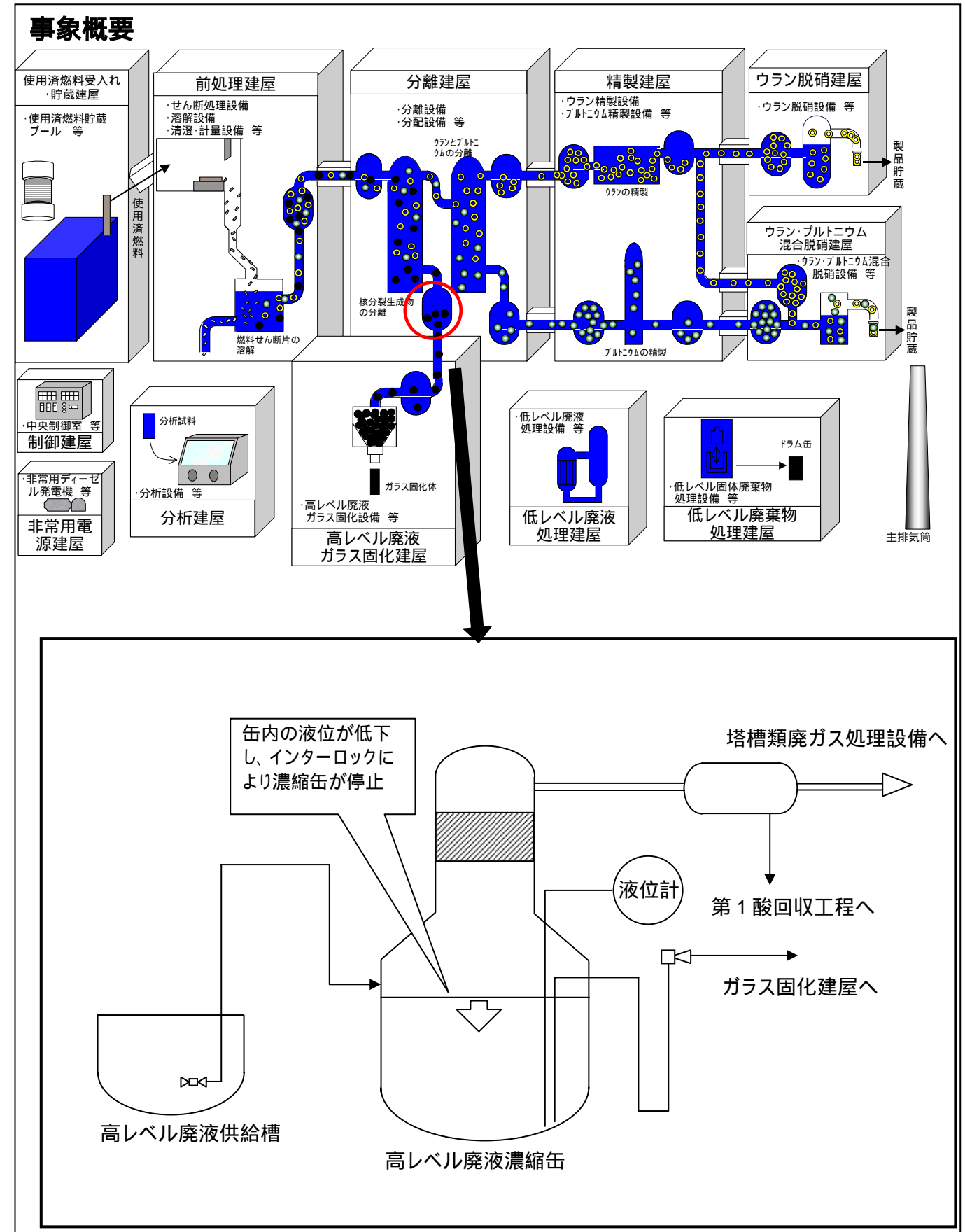
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 9 - 15)

<b>件名</b>	計器点検時の隔離ミスによる工程停止											
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: 液位計</p> <p>(2) 発生の状況 計測制御設備点検中</p> <p>(3) 概要 液位計点検時の隔離作業において、A 槽の液位計の弁を閉止するところを誤って B 槽の液位計の弁を閉止したため、インターロックの誤動作により工程停止 * 他建屋も含め同種の作業においても同様の事象の発生が予想される。</p>											
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 建屋の換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> インターロックの作動により工程が停止することから、これ以上の事象の進展がなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 液位計点検時の隔離作業は定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進める事により、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない、または上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> B 槽の液位計測に影響が生じるが、貯槽によっては、他工程の運転に影響を生じないものもあれば、その上流、下流の工程の運転に影響を生じるものもある</p>											
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 隔離ミス発見後、早急に点検前の状態へ復旧する。</p> <p>(2) 復旧後、プロセス値及び他工程に影響を与えていないか確認する。</p> <p>(3) 復旧後プロセス値等が点検前状態に戻っていることを確認し、再度隔離手順に従い隔離を行い点検を実施する。</p>											
<b>公表区分</b>	毎月集約して月 1 回公表 (ホームページへ掲載)											
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 20%; vertical-align: top;">                     国際評価尺度 (INES) のレベル                       (レベル2以下は工場外への影響はない)                 </td> <td style="width: 60%; text-align: center;">                     放射能物質の外部放出                      工場外への影響                 </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="text-align: center;">                     放射能物質による汚染、被ばく等                      工場内への影響                 </td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="text-align: center;">                     多重防護の劣化                      運転制御機能からの逸脱等                 </td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="text-align: center;">                     日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td></td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル (レベル2以下は工場外への影響はない)	放射能物質の外部放出 工場外への影響	(b) 運転システムを切り替えて復旧	放射能物質による汚染、被ばく等 工場内への影響	(c) 当該機器を停止して復旧	多重防護の劣化 運転制御機能からの逸脱等	(d) 当該設備を停止して復旧	日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	(e) 影響範囲の設備を停止	
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル (レベル2以下は工場外への影響はない)	放射能物質の外部放出 工場外への影響										
(b) 運転システムを切り替えて復旧		放射能物質による汚染、被ばく等 工場内への影響										
(c) 当該機器を停止して復旧		多重防護の劣化 運転制御機能からの逸脱等										
(d) 当該設備を停止して復旧		日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>										
(e) 影響範囲の設備を停止												



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 9 - 16)

<b>件名</b>	液位低による高レベル廃液濃縮缶の自動停止							
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 高レベル廃液濃縮缶</p> <p>(2) 発生の状況 高レベル廃液濃縮缶の加熱運転中</p> <p>(3) 概要 高レベル廃液濃縮缶の処理量を上げるため、蒸発量及び供給量を増加させたが、供給量を増加させるタイミングが遅く液位が低下し、インターロック作動により運転が自動停止</p> <p style="text-align: center;">* 他の建屋も含め同種の機器においても同様な事象の発生が予想される。</p>							
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない</b> 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼動している設備内での液位変化なので放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の影響はない</b> 高レベル廃液濃縮缶の濃縮運転が停止する事象であり、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない</b> 高レベル廃液濃縮缶の運転を再開する際には廃液の供給等の作業が必要となるが、全てセル外の作業のため作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>上流・下流の工程の運転に影響が生じる可能性がある</b> 当該高レベル廃液濃縮缶の上流・下流の工程はその中間にある一時的な貯留槽の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>							
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 高レベル廃液濃縮缶が自動停止した原因を確認する。</p> <p>(2) 入液量と蒸発量のバランスを調整する。</p> <p>(3) 定められた手順に従い高レベル廃液濃縮缶の再起動を実施する。</p>							
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)							
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  放射性物質の外部放出                  放射性物質による汚染、被ばく等                  多重防護の劣化             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 多重防護の劣化	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 多重防護の劣化							
(b) 運転系統を切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								



## 再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9 - 17)

<b>件名</b>	脱硝装置におけるマイクロ波加熱の停止									
<b>事象の概要</b>	<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋：脱硝装置</p> <p>脱硝運転中</p> <p>ウラン溶液の脱硝運転を繰り返し行うことにより、脱硝装置内においてわずかに飛散し付着したウラン粉末がマイクロ波加熱されて発光し、この光を放電検知器が検知してしまったため、マイクロ波加熱が脱硝反応の途中で停止</p> <p>ウラン溶液がマイクロ波加熱により脱硝されるとウラン粉末が生成する。脱硝反応時にマイクロ波を照射していると、ウラン粉末の一部が局部的に過熱され発光する。通常運転では、この光を照度計で検知して脱硝反応の終了を検知する。</p>									
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 放射性物質を除去するフィルタ等を有する塔槽類廃ガス処理設備が稼動しているグローブボックス内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 通常の脱硝反応終了によってもマイクロ波加熱は停止するものであり、放電検知器によりマイクロ波加熱が停止することで脱硝装置の運転が停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない</b> 復旧作業は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画書に沿って安全に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 脱硝装置の運転停止に伴い、ウラン溶液の脱硝処理が一時的に停止するが、装置内にわずかに付着したウラン粉末を除去すれば短時間で復旧できるため、他工程への影響は生じない。</p>									
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 手順書に従い、装置本体内部を点検し、異常がないこと等を確認する。</p> <p>(2) 装置本体内にウラン粉末の付着が確認された場合、装置本体内部を清掃する。</p> <p>(3) 復旧後は、マイクロ波出力を徐々に上げ、状況を確認しながら運転を再開する。</p>									
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)									
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射能物質の外部放出</p> <p>工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>放射能物質による汚染、被ばく等</p> <p>工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等</p> <p>多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
0以下	1	2	3	4	5	6	7			

